函館商工会議所
會報
（No. 35）
函館市鶴岡町1番地
発行所　函館商工会議所
電話代表③1181番
発行人　平田淳二

商工業者の皆様、業界発展のため揃って函館商工会議所の会員になりましょう

決定を保留再検討へ

新設の委員会規程
正副委員長は会頭一任

本会議所の第三回臨時議員総会は十一月二日午後三時から本所二階講堂で開かれ、一、正副部会長の選任について、二、委員会規程について、三、正副委員長および委員の委嘱について、四、顧問および参与の委嘱について、五、退任議員に対する感謝状、その他、各部会の正副部会長は、さきに各部会ごとに決定をみたる旨報告があり、ついでそのまま承認され、「別項」のとおり新たに設置されたことになった。①労務②生活対策③経営商指導④商業新業進一五委員会の規程審議に入ったが、「別項」（第十条）の要あり一部訂言もあって決定を保留し、さらに検討を加えることとなった。また正副委員長および委員の委嘱は会頭に一ぎのとおり委嘱された。

◇正副部会長決る

◇小売商業部会
副部会長　山崎豊治
同部会長　外村初太郎
竹内八郎

◇卸商業部会
副部会長　稲田不二男
同部会長　大崎善郎
川口恭平

◇工鉱業部会
副部会長　黒田喜好
同部会長　上谷禎次
山村与三郎
井村守治
成田重吉

◇運輸貿易部会
副部会長　佐藤寅五郎
同部会長　宮口正男

◇水産部会
副部会長　田中誠一郎
同部会長　宇都宮竹次郎

◇理財部会
副部会長　庄子庄次郎
同部会長　板垣吉六

◇観光サービス部会
副部会長　鈴木石太郎
同部会長　佐藤栄一郎

◇顧問（順不同）
函館市長吉岡彦次▽函館市議会議長高木一▽函館税関長岩本利通▽日本銀行支店長関口直行▽日本銀行支店長船越鉄道管理局長花文勝▽函館税務署長白川和市▽北海道財務局函館財務部長沢井忠▽日本懸林吉▽渡島支庁長見山懸▽北海道開発庁長尾茂成▽桧山支庁長月信▽函館開発建設部長栗林隆▽函館開発建設部長浅川林三▽北海道函館営林局長佐々木節

◇参与
青函船舶鉄道管理局長立村義治▽函館労働基準監督長細田中正己▽函館統計調査事務所長米沢清▽函館労働基準監督長松本真八▽函館電気通信部長小野隆二郎▽函館公共職業安定所長藤佑七▽商工組合中央金庫函館支所長佐々木節▽函館支店長佐々木節▽函館地区税務署長加藤栄三▽函館地区税務署長老平塚常次郎▽経済界長井忠▽市長元村善太郎、渡辺二郎▽前川清夫▽函館電気通信部長小川勇四郎、高橋一郎▽函館公共職業安定所長藤佑七▽商工組合中央金庫函館支所

輸送の迅速化計れ

調法な〝かつぎや〟利用

今金・瀬棚地方取引懇談会

函館市、函館商工会議所、問屋連合会共催の〝今金、瀬棚地方取引懇談会〟は去る九月十四日（今金）十五日（瀬棚）十六日（北檜山）の三日間三会場に分かれ行なわれた。会場には▽現地側＝今金（三十二人）、瀬棚（三十四人）、北檜山（三十一人）、計九十七人▽函館側＝問屋連合会（十六社）、金融機関（二人）、国民金融公庫函館支所、中小企業金融公庫函館出張所、運輸業者（二人）日本通運（株）函館支店、道南通運（株）、市議会（藤野経済文教常任委員長）、商店（藤芳次郎ツ、函館商工会議所（斎藤事務局長）、計二十四人が出席し、輸送問題等を巡って熱心な意見交換が行なわれた。

懇談会各会場の主な発言内容はつぎのとおり。

◇今金会場　①昔は問屋が金融機関の性格をもっていたので商売はやりやすかったが、この頃は問屋の利潤も少なくなったせいかサイトも短くなり、金融機関に頼るほかない。とくに今金地区は全現地の声を聞いたことは函館側の業者には非常に参考になったようである。なお強い要望のあった自線トラック問題については去る一月六日、市役所に吉田（ハクセン貨物地区）株式会社長、常盤市経済部長、函館商工会議所斎藤業務課長の三者が会同懇談の結果、本日（十四日）、北檜山区業者の同方面への進出と攻勢強化のおりから、直接懇談会を行なった。

安い札樽の商品

発言内容

道一強力な今金農協があるので、現金主義にはなっているが、これと対抗する意味で、無在庫、現金主義にしなければならない。この迅速化は絶対要件と考えるが、この点、輸送の迅速化の為に、函館の問屋は協定商品の値引ないかぎり値段は仕入値に品物を注文してから、函館に品物を注文しても、なかなか、従って〝かつぎ〟やから間に合わせることが常習になっている。小樽および函館からの〝かつぎや〟が六十名程度、函館で非常に便利である。

②輸送について函館業者がもっと責任と誠意を持てば、もっと良質の商品が入ってくるのである。

③輸送の迅速化計れ、現地の業者が相当いたいと。未着の商品がとなったから解らないなかった例がある。

④鮮品等は、函館業者が、〝かつぎ〟が十名くらいおり、これを利用しているが、これらの問題は協定商品の値引ないかぎり、〝かつぎ〟の問屋の態度は非常に横柄でなく、〝やく〟の問題は、函館の問屋は協定商品の値引ないかぎり、〝かつぎ〟の問屋の態度は非常に横柄でなく、〝やく〟の問題は、函館の問屋は協定商品の値引ないかぎり、〝かつぎ〟の問屋の態度は非常に横柄でなく、たとえ商いは少なくとも待遇に気を使ってほしい。

店主も現地へ

◇瀬棚会場　①函館の商売人は、商売が多く、商売が結構商売が多く、商売が結構商売が多く、商売が結構